

まちの日記帳



いにしえ ～古の積丹に会いに行く。～ 神威岬プレミアムナイトツアー

10/8

第1管区海上保安本部から「航路標識協力団体」に指定されている実のなる杜推進協議会（岩井宏文代表・構成：町内外事業者6社）の構成団体である（株）積丹スピリット（岩井宏文代表取締役）主催の神威岬の「夜」の魅力が味わえるツアーが行われ、町内外から23名が参加しました。

参加者は、夜の神威岬灯台周辺で、神威岬灯台に刻まれた歴史に思いを馳せる時間を暮れる夕日と星空・漁火の絶景とともに味わいました。



練習の成果を発揮！ 「第39回町内ゲートボール大会」

10/17

町教育委員会主催の第39回町内ゲートボール大会がB & G海洋センターアリーナで行われ、3チーム・10名が日頃の練習の成果を発揮し、白熱した戦いを繰り広げました。

優勝 Cチーム（代表 熊本 和子）

準優勝 Aチーム（代表 岡崎 一美）

第3位 Bチーム（代表 新井田 明見）



イタズラしちゃうぞ！ 保育所「ハロウィン」

10/31

自分で作ったお面やマントを身につけて、「ハッピーハロウィン♪」と言いながら、びくに保育所は、エイジングステーション「やすらぎ」や特別養護老人ホーム「ゆうり」を訪問、みなと保育所は日司町市街地や日司漁港を町内散歩しました。

訪問先や多くの町民の皆さんから「可愛いね～」、「似合ってるよ」などと声を掛けられ、子どもたちはとてもうれしそうでした。



▲びくに保育所

▶みなと保育所



地域おこし協力隊、同OBOG、 議会及び行政との意見交換会

11/8

地域おこし協力隊(9名)、同OBOG(3名)と議会(7名)・行政(10名)との意見交換会が開かれました。

各隊員の近況や悩み、活動課題、任期満了後に向けた展望、本町の移住・定住対策に関しての活発な提言や要望が聞かれました。

11月30日現在、積丹町内で15名(10事業所)の地域おこし協力隊と、同隊OBOGの皆さんが、活動の違いを乗り越えて町の活性化に熱意あふれる活躍が展開されています。



海の命から食を学ぶ！ ブリの荷揚げ見学・料理のツアー

11/11

町地域活性化協議会(馬場龍彦代表・構成：積丹町商工会など9団体)主催のブランドブリ『鰯宝』の荷揚げ見学と料理を味わうツアーが行われ、町外の飲食店事業者ら14人が参加しました。

鰯宝は、定置網漁の旬丸栄水産が船上活締めした、重さ7kg以上、脂肪率15%以上のブリにその名が冠されます。東しゃこたん漁協が令和元年にブランド化して以降、道内外で評価が上昇し、ブリの本場・富山県氷見市へも出荷されています。

漁協職員の説明で陸揚漁船と競りを見学し、ヤマシメ石蔵へ移動後は、別所 範一さん(美国町)によりブリのさばき方が披露され、参加者は鰯宝料理を食べながら積丹の食のすばらしさを学びました。



▶別所 範一さん(美国町)



防災意識を高める 美国中学校「一日防災学校」

11/17

美国中学校で、北海道開発局小樽開発建設部と協成建設工業株式会社による「一日防災学校」授業が行われました。

工事中の美国小学校裏避難階段を具体例に、国の防災安全対策の取り組みを同部の担当者から教わったほか、工事施行者の協成建設工業(株)によるドローンやレーザースカナーを使った立体投影など土木工事機材の紹介や実演を見学し、生徒たちは、防災の知識と大切さを学びました。



北後志消防組合積丹支署

— 消防ニュース —

「町民の期待に応え日々訓練」 隊員の現場対応能力の強化 都市の消防隊員に負けない！

11月7日から9日の3日間、隊員警防訓練を行いました。訓練内容は、積丹支署庁舎を住宅と見立て、火災が発生し、建物内に逃げ遅れている人がいる想定です。

また、小・中隊長の指揮及び判断能力を養うとともに、若手職員の進入要領及び活動要領のスキルアップを目的に、スモークマシンを使用して煙を充満させ、何も見えない状態で要救助者（ダミー人形）を救出する訓練や、建物内部の検索訓練等が行われました。

時間の経過とともに現場の状況が変化する訓練ということもあり、より災害現場に近い臨場感のある訓練ができました。こうした訓練を今後も継続して行い、隊員間の連携や現場対応能力の向上強化を図り、町民の皆さんの安心して暮らせる町づくりに貢献していきます。



女性防火クラブ視察研修 札幌市民防災センターへ

10月25日、積丹女性防火クラブ連合会（山崎美枝子会長・会員319名）の視察研修が札幌市民防災センターで行われました。

同センターは、地震、強風、火災時の煙等の様々な災害を体験し、その災害から身を守る術を学べる施設です。

山崎会長ほか16名の参加者には、播磨積丹支署長、熊倉副支署長ほかが随行し、充実した研修となりました。



札幌管区气象台からのお知らせ

できていますか 猛ふぶきへの「備え」

猛ふぶきのときは、外出を控えることが一番です。

北海道では、冬に猛ふぶきによる災害が繰り返し発生しています。特に、晴天から猛ふぶきへと天気が急変した時に被害が起きやすくなります。

气象台では、猛ふぶきによる重大な災害が予想される場合は、「暴風雪警報」や「暴風雪に関する気象情報」を発表します。そして、命に係わるような危険な状況が迫ってきたときは「数年に一度の猛ふぶき」「外出を控えて下さい」というキーワードを使った気象情報を発表します。

今、晴れていても安心せずに気象情報を確認して、猛ふぶきが予想されているときには、外出は控えるとともに、懐中電灯、携帯ラジオ、ポータブルストーブの準備など停電にも備えましょう。

▼暴風雪への備え

▼警報・注意報

▼気象情報



【問い合わせ先】札幌管区气象台天気相談所 TEL 011-611-0170

— 余市警察署通信 —



～飲酒運転の根絶～

■飲酒運転は悪質な犯罪

飲酒は安全運転に必要な情報処理能力、注意力、判断能力を低下させ、運転に大きな影響を及ぼし、重大事故に繋がる危険性を高めます。

皆さん一人一人が「飲酒運転をしない、させない、許さない、見逃さない」ことを強く意識しましょう。

■飲酒運転は、運転者以外も処罰の対象

車を運転する恐れのある人にお酒を提供したり、お酒を飲んでいる人に車を提供したり、飲酒運転の車に同乗した場合は、飲酒運転と同様に処罰の対象になります。

■「ハンドルキーパー運動」で飲酒運転を防止！

仲間と車で飲食店に行く場合、あらかじめお酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届けましょう。



ハンドル
キーパー

小樽海上保安部便り No.41

～ 冬の釣り、足元・荒天に要注意 ～

海の「もしも」は
118番

これから厳しい冬を迎えるにあたり、以下のような冬季特有の釣り事故の発生が懸念されますので、十分気をつけましょう！

《冬場の主な事故や特徴》

雪庇や路面凍結による海中転落

冬場の岸壁や防波堤は、雪庇ゆきびとなっていたり、路面凍結によって非常に滑りやすくなっていることがあるため、先端から一定の距離をとりましょう。滑りにくい靴を履くなど安全装備もお忘れなく。

吹雪による海中転落

吹雪などによって視界不良となり、足元や進行方向を見誤る可能性があります。家を出る前に気象海象を確認して、無理をしないよう気をつけましょう。

暴風・高波による海中転落や孤立

冬場は低気圧の発生により悪天候となる日が多く、暴風や高波をもたらします。磯場や防波堤などでは高波に攫さらわれたり、孤立し帰れなくなることもありますので、気象海象の確認や釣り場の選定は慎重に行いましょう。

低い海水温度による重症化

北海道は冬場の海水温度が低いため、海中転落した際にわずかな時間で低体温症となることが多く、命に関わる重大な事故につながるおそれがあります。まずは落ちないことが大切ですが、万が一の海中転落に備えて、ライフジャケットを着用しましょう。



小樽海上保安部

〒047-0007 北海道小樽市港町5番2号
0134-23-0481

今月の納期

- 国民健康保険税 第6期
納期限 12月25日(月)
- 介護保険料 第6期
納期限 12月25日(月)
- 後期高齢者医療保険料 第6期
納期限 12月25日(月)

- 町道民税 第4期
納期限 12月25日(月)
- 上下水道使用料金 11月分
納期限 12月29日(金)
- 住宅使用料 12月分
納期限 1月9日(火)

(注) 口座振替をご利用の方は、12月25日(月)に引落としになりますので、前日までに残高の確認をお願いします。

【問い合わせ先】
役場税務課 TEL44 - 3384